

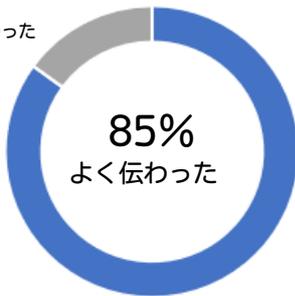


小学部授業研究会オンデマンド参加者から

9月に行われた小学部全校授業研究会のオンデマンド配信を行いました。オンデマンド配信は参加がしやすいこともあり、県外からも30名の参加者がありました。今回は、オンデマンド配信に参加された方からのアンケート結果をお伝えします。

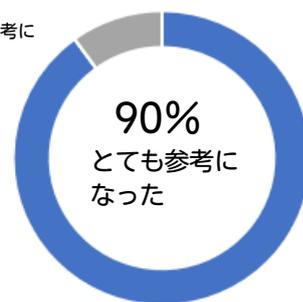
オンデマンド配信で授業内容が伝わりましたか？

15%
まあまあ伝わった



研究授業は参考になるところがありましたか？

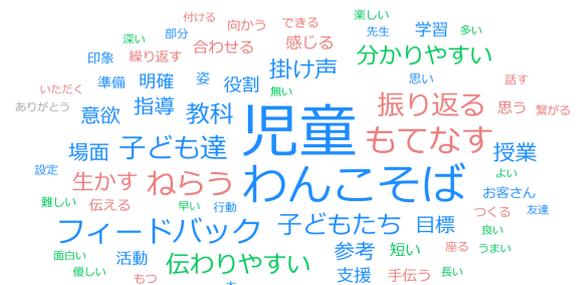
10%
まあまあ参考になった



オンデマンド配信参加者からの声

【授業の感想、もっとこうしたらよい等の改善点について】

- 一つ一つの言葉掛けが丁寧かつ確で、お客さんの席に座った児童へも臨機応変に、本人も納得する形で対応していたことが印象的でした。
- 授業の中でポイントとなる点を話している時に、別の先生が黒板にまとめる工夫がよかった。
- わんこそばの最中は楽しい雰囲気全員で作りだしており、見ている私も楽しい気持ちになりました。
大人も全力で楽しむということを今後も忘れないようにしたいです。
- ねらいが明確で写真で見返りをしていたので、子どもたちも見分り、最後のまとめとなる部分とも整合性がありました。
- 友達と助け合うことの大切さも自然な流れで行うことができていたこと、その場面を見逃さずに振り返りの場面で子どもたちの活動を価値付けているところなどが参考になりました。
- キャリアパスポートを活用した実践、大変勉強になりました。子どもたちの思いや願いから授業を作り上げていくことで、一人一人が自分の役割を理解し、意欲的に活動している姿が印象的でした。
- △生活単元学習は合わせた指導となりますが、どこにどの教科のねらいがあるのか、一人一人の教科の目標はあるのか気になりました。
- △実際に準備開始からお客さんに提供できるまでの時間を計測してみると、手伝ったり繰り返していくことで時間が短くなったねと数字で見分けるのかなと思いました。
- △練習後の先生からのフィードバックを改善のためのヒントの形にしてみてもいいと思った。例えば、今回は前時での先生からのフィードバックが「友達に願う。お客さんが待っているから。」だったが、「待つ時間が長くて疲れた。」などというフィードバックにして、そこから「準備時間を短くしよう。(前は何分掛かっていたから今日は何分で準備しよう)」「そのために、友達の手伝いをすると早くなるんじゃない。」などという本時の目標が子どもたちから出たら面白いなと思った。
- △子どもたちの中にわんこそばというイメージはあったと思うのですが、5年生をもてなすこと、教えることは2つの要素があって難しいかなと思いました。



【テキストマイニングで参加者の声を可視化】

【オンデマンド配信について】

- 動画編集がすばらしく、各種資料が見やすくページに配置しており、非常に利用しやすかったです。
- 他県、他校の授業を見られる機会はとても貴重で、参考になることが多くありました。
- 板書や掲示物を適宜、画面にアップされており、とても見やすかったです。
- 一つの公立学校がこのように全国へ発信している姿はとても素晴らしいと感じているところです。

